

# 『この天の虹』撮影異聞

中村重義

松竹映画『この天の虹』木下恵介監督にて成る昭和33年

舞台は北九州八幡製鉄所、「虹」とは製鉄の七彩の煙の美称

朝鮮動乱後の経済成長期製鉄所が最も躍動していた時期

「煙濛々<sup>もうもう</sup>天に漲る」八幡市歌にありし製鉄所の活況の象徴

溶鉱炉の職長に笠智衆いて秘書室の女子社員に久我美子出演

高橋貞二は高炉の棒心（責任者）久我に秘かに恋心寄せる役

大木実 は製鉄合唱団員役、団員われら出演ひた待ちおりし

もっと酸素吹き込めの指令に製鋼工場よりどっと上る紅の煙

製鉄社員の喜怒哀楽も織り交ぜて工場、社宅の撮影進む

出演を今か今かと待ちいしにシーンカットとはつれない結末